【学校通信】　平成29年11月1日
第23号

西中の風

～継続と徹底～

伊丹市立西中学校長
大西　規之

７０周年記念式典を挙行しました。

１０月２５日（水）に、創立７０周年記念式典を挙行しました。９０名近いご来賓のご臨席のもと、厳かに式が進んでいきました。校歌・国歌合唱から始まり、高橋敦志実行委員長と学校長の挨拶につづき、ご来賓を代表して藤原保幸市長様、木下　誠教育長様からご祝辞をいただきました。記念品として同窓会から「校訓パネル」を２ついただき、玄関と校長室にそれぞれ設置しております。また、生徒へはＰＴＡから本に挟むレザー製の栞もいただきました。その後、ご来賓、祝電の紹介の後、先輩からのメッセージをＦＭいたみパーソナリティ沢くみこ様に朗読していただきました。メッセージを送っていただいた先輩は女優の有村架純様です。生徒は真剣にメッセージを聴き、自分にとり入れようとしていたように思います。７０年という歴史と伝統が、１年１年年輪のように積み重なり、今の西中学校があります。生徒には自信と誇りを持って学校生活を送り、新たな年輪を積み重ねていってほしいものです。

式典の後の講演会でお話しいただいた棚橋秀行様からは、歌やきびきびとした「起立」「礼」「着席」等の動きに感心され、「久しぶりに中学生らしい中学生を見ました」とのお褒めのお言葉をいただきました。本当にうれしい限りです。以下、校長の挨拶を紹介します。

式　辞

菊薫るこの佳き日、伊丹市立西中学校が、創立７０周年を迎え、皆様とともに祝福できますことは、この上ない喜びであります。この間２万名をこえる卒業生を送り出すとともに、地域の文化と教育の拠点として輝かしい伝統と校風を築いてまいりました。これもひとえに、伊丹市並びに伊丹市教育委員会をはじめ、関係当局、ＰＴＡや地域の皆様の絶大なるご尽力の賜と厚くお礼申し上げます。また、昨年来、創立７０周年記念式典実行委員会を設立し、記念式典の遂行のために献身的にご支援賜りました高橋敦志実行委員長をはじめ実行委員の方々のご厚情とご協力に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

本校は、昭和二十二年に、新制中学校として大きな期待のもとに設立されました。開校当初は独自の校舎は無く、本校を稲野小学校に、分校を県立伊丹高等女学校に置きました。昭和二十二年に分校を、翌年に本校を現在地の阪神商業学校跡に移転し、ようやく本校と分校が統合され、一つにまとまることができました。その後も、生徒数の増加に伴い、順次改築され、施設整備がなされました。昭和三十三年には木造校舎が鉄筋校舎に改築され、昭和三十八年にはプールが、昭和四十年には体育館が、昭和四十九年には新館が、平成二年には武道館が完成しました。今年の夏には旧館と体育館棟が大規模改修できれいになり、新館にもセパレートの空調が設置されました。伝統ある校舎に新たな教育環境が整いつつあり、この学び舎で中学校生活を過ごせることは西中生にとって最高の幸せであります。

本校の教育活動を振り返ってみましても、研究指定校、研究実践校などでの研究発表では、平成六年度に、当時の文部省より「道徳教育研究」の、平成二十三年度には県教育委員会から「兵庫学力向上推進プロジェクト『ことばの力』育成事業」の指定を受けるなど、精力的に研究活動を進め、多くの研究実績を積み重ねてきました。

部活動においては、サッカー部、男子バスケットボール部、吹奏楽部、陸上部男子、陸上部女子、水泳部女子、卓球部女子の全国大会出場をはじめ、近畿大会や県大会でも各部が数多くの優秀な成績をおさめています。伝統の中で培われた「粘り強く、たくましい心と体」が十分に発揮され、まさに文武両道を目指す本校の大きな誇りとなっております。

さて、在校生の皆さん、これまでの先輩方が築かれた西中学校の輝かしい伝統と校風をしっかりと受け継いでください。体育大会のはつらつとした行進、文化祭の素晴らしい合唱、普段の気持ちの良い挨拶など、先輩方は素晴らしい伝統を残してくださいました。あさってはいよいよ文化祭。合唱コンクールがあります。二、三年生は、先輩方から引き継いだ「聞いている人を感動させ、涙を誘う合唱」を是非一年生に伝えてほしいと思います。

そして、本校の強みは、家庭と地域の教育力の高さです。家族はもとより、地域の方々に支えられ、励まされていることも忘れてはなりません。このようにサポートを受けながら西中学校で学ぶ皆さんは幸せです。この今の時代を力強く生きる人間として自分が住んでいる地域を大切にするとともに、母校となる西中学校をこよなく愛し続けてほしいと切に願っています。

七十周年の大きな節目にあたり、私ども教職員一同は、西中学校を現状維持させるだけでなく、さらにそれを発展させなければならない責務の重さをひしひしと感じております。これまでの歴史と伝統を確実に受け継ぎ、地域の学校として、皆様方のご期待に応えられますよう、決意を新たにし、さらなる躍進へと教職員一丸となって子どもたちの教育に邁進いたします。西中学校は地域の学校であり、地域のシンボルであります。どうか今後とも引き続きご厚情とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本日、ご臨席賜りました皆様方のご健勝とご多幸を心よりお願い申し上げ式辞といたします。

平成二十九年十月二十五日
伊丹市立西中学校長　大西　規之

